

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会（埼玉・千葉開催） 競技上の注意

(公財) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

1 競技規則

本大会は、平成30年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則ならびに（公財）全国高体連ハンドボール専門部内規及び申し合わせにより実施する。

2 競技時間

- ①30分（前半）-10分-30分（後半）とする。
- ②延長戦は、準決勝戦までは第一延長を行う。それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。決勝戦は、第二延長まで行い、それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。
- ③加算式の電光表示時計を使用する。
- ④競技終了・チームタイムアウトの合図は、ホーン（ブザー）で行う。
- ⑤退場時間は、退場者電光表示板で表示する。入場はチームの責任によって行う。

3 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会検定球（人工皮革）を使用する。

品番	モルテン	男子 H3X4000	女子 H2X4000	ミカサ	男子 HB3000	女子 HB2000
偶数年度	男子	女子			男子	女子
第1日目	・ ミカサ	モルテン		準々決勝	・ モルテン	ミカサ
第2日目	・ モルテン	ミカサ		準決勝	・ ミカサ	モルテン
第3日目	・ ミカサ	モルテン		決勝	・ モルテン	ミカサ

4 競技会場（コートの広さ）

(男子)	・ 三郷市総合体育館	40m × 20m (1面)
	・ 八潮エイトアリーナ	40m × 20m (1面)
	・ 吉川市総合体育館	40m × 20m (1面)
(女子)	・ キッコーマンアリーナ	40m × 20m (1面)
	・ 市川市国府台市民体育館	40m × 20m (1面)
	・ 市川市塩浜市民体育館	40m × 20m (1面)

5 参加資格等について

- ①代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。
- ②ベンチは、役員4名（監督1名・役員3名とし引率責任者を含む。また生徒役員は2名まで）とする。
選手16の計20名以内とする。役員・選手は、（公財）日本ハンドボール協会に登録され、（区分は、高校）大会申込書及びプログラムに記載された者であること。また、チーム役員4名は必ず指定のIDカード（A・B・C・D）を身につけること。
- ③公式記録用紙に記載されている者だけが、交代地域に入ることができる。チーム責任者は、試合開始前にチーム役員および選手の氏名と背番号が正しく記載されているかを確認し、公式記録用紙にサインする。
- ④選手・役員は試合前のユニフォーム確認時に登録証（区分は、高校）をテクニカルデレゲートに一括提出し、さらに試合直前に審判員から本人の確認を受ける。

6 トス・ユニフォームについて

- ①ユニフォームの確認は、第一試合は開始時間30分前、第二試合以降は前試合の前半終了直後に、試合会場記録席前で、両チームの代表者出席のもとで行われる。その試合に着用する全てのユニフォームを持参すること。

7 選手およびチーム役員の罰則の適用について

- ①罰則は個人に適用するものとする。
- ②試合中に技術的・戦術的な指示であっても度を超した発言、態度、行動については許されない。目に余るスポーツマンシップに反する行為については、審判員が罰則を適用する。審判員が気つかないときは、テクニカルデレゲートから審判員に知らせ審判員が罰則を適用する。（選手も同様）

8 裁定委員会、上告委員会

- ①本大会に裁定委員会（競技委員長・競技副委員長・総務委員長・審判長）、上告委員会（競技委員長・競技副委員長）を置く。なお、必要に応じて関係者を同席させる。
- ②本大会は、0・TDを3回戦より置く。

9 その他

- ①2足制の厳守
体育館シューズ、屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。守れない場合は別途指導する。
- ②松ヤニ等の使用について
全ての競技会場で両面テープの使用を認める。松ヤニ・松ヤニスプレーは使用禁止とする。
- ③交代地域での飲料水使用について
 - ・コップ等の使用をさけ、ストロー付、または飲み口の細い容器を使用すること。
 - ・交代地域及びベンチ付近がぬれないよう配慮すること。